

お祝いの森づくりプロジェクト



森のライフスタイル研究所

プロジェクトの背景と目的

お取引様の昇進・昇格のお祝いや開店祝い、移転祝い、周年祝いなどのお祝いごとに胡喋蘭の贈り物をする風習が日本にはあります。華やかなこと、時期を選ばないこと、花言葉「幸福が飛んでくる」などがお祝いのギフトとして選ばれる理由でだそうです。

しかし胡喋蘭を育てていくことは難しく、1ヶ月もすると段々しおれてきてしまい、ゴミとして捨てられることが多くあるとお聞きします。

ゴミの発生を抑制していく今の時代、胡喋蘭に変わるお祝いのギフトを森づくり団体として考えました。

森ライでは、サステナブルなギフトとして、苗木（植林）を提案したい。

荒れた土地に新たに植林をすることで、陸の豊かさにつながるばかりでなく、気候変動問題の解決にも貢献していきます。お祝いごとのギフトとすることで、お取引様とのパートナーシップ型での地球環境の問題解決への取り組みになり、より一層の絆となるのではないのでしょうか。

プロジェクトの場所

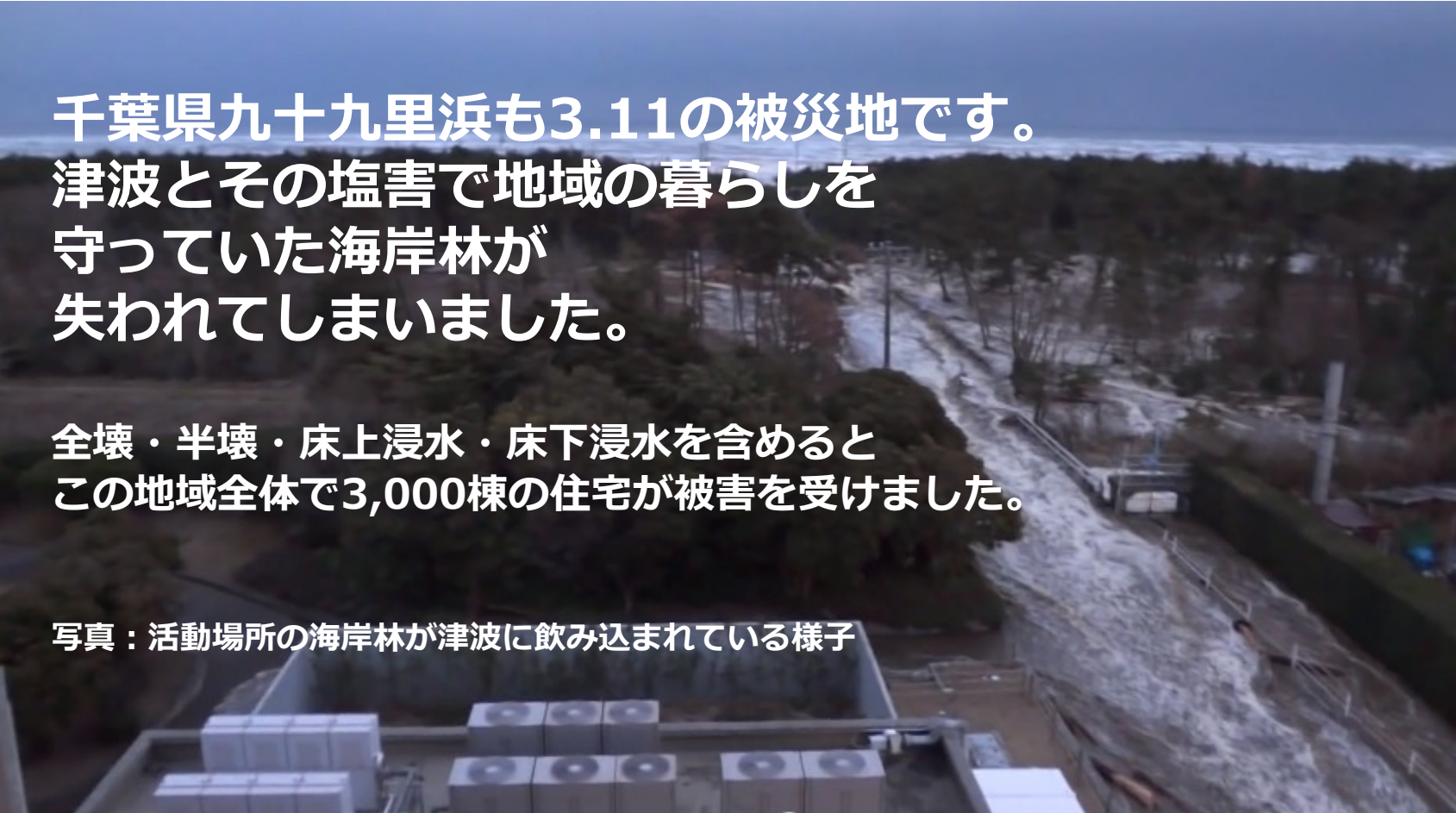
プロジェクトの場所は、2011年3月の東日本大震災の津波被害を受けてダメージを受けた、千葉県山武市蓮沼殿下海岸林。

森ライでは、2011年から当地で海岸林再生活動に着手し、公共工事に依存しない市民・企業協働での活動を続けています。植林後は、下草刈り等の保育活動も5年程度行います。

千葉県九十九里浜も3.11の被災地です。
津波とその塩害で地域の暮らしを
守っていた海岸林が
失われてしまいました。

全壊・半壊・床上浸水・床下浸水を含めると
この地域全体で3,000棟の住宅が被害を受けました。

写真：活動場所の海岸林が津波に飲み込まれている様子



移動アクセス



東京都心部から蓮沼海岸林まで

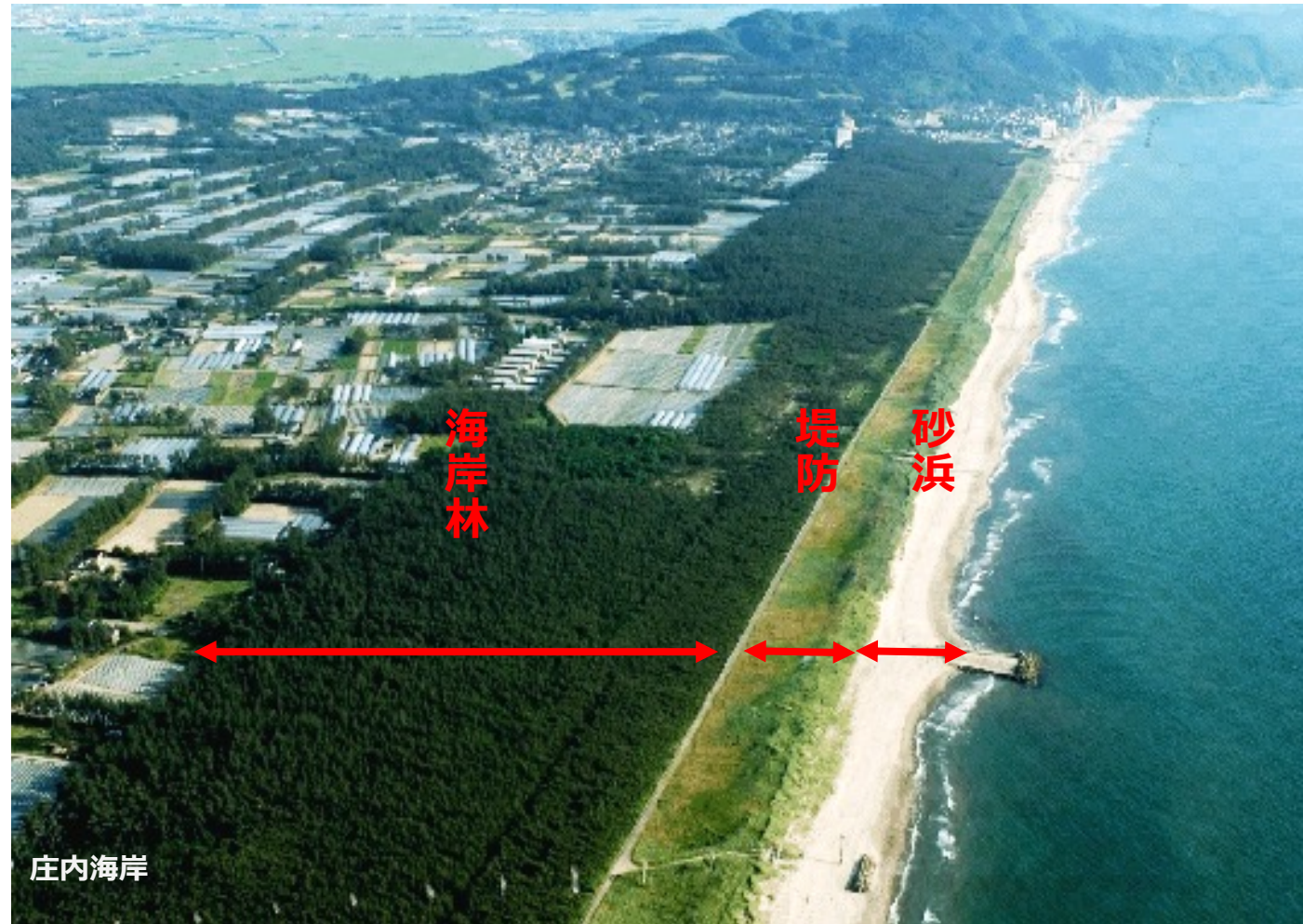
自家用車で約90分
大型バスで約120分

蓮沼殿下海岸林



海岸林とは

防風、防砂、
高潮・津波被害の軽減などのために海沿いの土地に植樹された林





海岸林の役目 防風・防砂
潮風害防止
高潮・津波被害の軽減

海岸林があると 海岸林が飛砂や塩害を防ぎます

陸からの強い風、砂や塵の被害

海からの強い風、砂や潮の被害





2011年3月：東日本大震災

**海岸林の機能が弱かった、もしくは
失われていた箇所の住宅被害が多かった**

プロジェクトの計画 【御社が贈る側の場合】

1胡蝶蘭7ツリー（1本の胡蝶蘭に対して7本の植林を行う。7＝ラッキーセブン）

（例えば年間）

・ 胡蝶蘭 50本
を送っていたら



（植林本数予想値）

・ 胡蝶蘭分として350本
が海岸林の再生につながり
ます。

・ 植えた苗木や育っている苗木の写真を贈る側・贈られる側へ後日、お送りします。

プロジェクトの計画 【御社が贈られる側の場合】

1胡蝶蘭7ツリー（1本の胡蝶蘭に対して7本の植林を行う。7＝ラッキーセブン）

（例えばオフィス移転時）
・ 胡蝶蘭を苗木の受け取りに変更希望。10社が賛同。



（植林本数予想値）
胡蝶蘭分として70本
が海岸林の再生につながります。

金額例 胡蝶蘭 1鉢 35,000円



苗木7本分 35,000円（1本あたり5,000円）

・ 植えた苗木や育っている苗木の写真を贈る側・贈られる側へ後日、お送りします。

プロジェクトの植林樹種

クロマツ、メタセコイア、エノキ、シャリンバイ、トベラ等を想定

→所有者ある千葉県との協議によって最終決定



メタセコイア



エノキ

植林のイメージ



お問い合わせ

メール info@moridukuri.or.jp

電話 03-6457-5345